

12月5日(土) この《風船の家》に日本中が泣く。

これは、あなたの物語――

「モンスターズ・インク」の監督が贈る、愛と感動の人生讃歌。

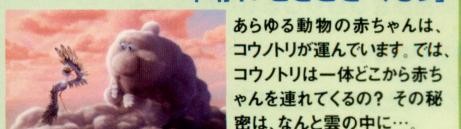
世界で最も大切な人を失ったとき、あなたならどうしますか？ 思い出を抱えたまま、残りの人生をひとり寂しく生きていくか。あるいは、悲しみを乗り越えるために、ひとり旅に出るか…。

最愛の妻を失い、ひとりぼっちで残され、人生に行き詰ったカールの場合、思いもよらぬ方法をとりました――思い出のつまつた家に無数の風船をつけて、大空へと飛び立ったのです。人生最初で最後の、二度と帰らない旅へと…。

「モンスターズ・インク」、「ファインディング・ニモ」、そして「ウォーリー」と、常に数多くの驚きと感動を贈り続けてきたディズニー・ピクサーから、記念すべき10作目にして、初めて人間を主人公にした物語が誕生しました。これまでの中で、最もイマジネーション豊かで、最も美しい作品――その名は、「カールじいさんの空飛ぶ家」。

最愛の人との別れと、その悲しみからの再生を描いた本作品は、カンヌ国際映画祭でオープニング上映されるなど、アニメーションの枠を超えた心に残る名作として、すでに世界中から絶賛の声が集まっています。愛すること、生きること、そして人生を楽しむことを教えてくれる奇跡の映画が、この冬、日本中を涙で包み込みます――。

同時上映（短編アニメーション）「晴れときどきぐもり」



あらゆる動物の赤ちゃんは、コウノトリが運んでいます。では、コウノトリは一体どこから赤ちゃんを連れてくるの？ その秘密は、なんと雲の中に…。

G
映像
映画盗撮は犯罪！発見したら
www.eigakan.org 0120-550098

一部劇場にて、ディズニー デジタル3-D 同時公開！

『字幕スーパー版／日本語吹替版』 監督:ピート・ドクター（「モンスターズ・インク」） 製作総指揮:ジョン・ラセター（「トイ・ストーリー」）、アンドリュー・ Stanton（「ファインディング・ニモ」「ウォーリー」）
脚本:ウォルト・ディズニー・スタジオ、モーション・ピクチャーズ・ジャパン オリジナル・サントラ盤:ウォルト・ディズニー・レコード ノベライズ:竹書房刊 ジュニア・ノベル・偕成社刊 ©Disney/Pixar 上映時間:1時間36分（+短編作品8分）

12月5日(土)全国ロードショー

カールじいさんストラップ付き劇場前売鑑賞券、販売中！（一般1300円／小人800円）

※3D版をご鑑賞の際は料金の差額をお支払いいただきます※一部劇場では取り扱っておりません

TOHOシネマズ日比谷	TOHOシネマズ六本木ヒルズ	TOHOシネマズ錦糸町	TOHOシネマズ西新井	渋東シネタワー	柏映シネマティアージュ	吉祥寺プラザ	新宿オデヲン座	新宿ピカデリー	新宿バトル9	シネマサンシャイン池袋	品川プリンシピア	MOViX龜有
03(3574)1131	03(5775)6090	03(5637)1040	03(5888)1040	03(5489)4210	03(5531)7678	0422(22)5336	03(3202)5657	03(5367)1144	03(5369)4955	03(3982)6101	03(5421)1113	03(5629)7200

109シネマズ木場	コナティッド・シネマ豊洲	T・ジョイ大泉	ワーナー・マイカル・シネマズ難波	TOHOシネマズお台場	109シネマズMM横浜	カーネギーホール・シネマ	109シネマズ港北	ワーナー・マイカル・シネマズ上野	TOHOシネマズ川崎	川崎チネチッタ	109シネマズ川崎	ワーナー・マイカル・シネマズ船橋
03(5683)0109	03(6219)3000	03(5933)0147	03(3937)1551	045(829)1040	045(664)0109	045(222)2525	045(848)5151	045(914)7677	044(230)1122	044(223)3190	0570(007)109	044(965)1122

「モンスターズ・インク」の監督、待望の最新作！



“この家”で、
君と出会った…

「あなたも冒険好き？」



エリー 10才
カール 10才

楽しい時、つらい時、うれしい時、悲しい時——そこには、いつも家があった…。

そこには、いつも君がいた…。



“この家”で、
君と愛を誓った…



エリー 19才
カール 19才

“この家”で、
君と夢を見た…



「伝説の滝…
いつか行こうね」

そして、“この家”で、
君と年をとり…



「もう君に会えないのか…」

ある日、ひとりぼっちになった…

(も の が た り)

少年時代に出会い、青年時代に愛を誓い、

二人三脚で同じ年月を重ねてきたカールとエリー。

二人は素敵な我が家で、老夫婦になっても愛情に満ちた日々を過ごしていました。

しかし、エリーは病に倒れてしまい、ついにカールはひとりぼっちに…。

78歳のカールじいさんは、亡き妻エリーとの思い出がぎっしりつまつ小さな家で、

ひとりっきりで暮らしています。

彼には「いつか叶えよう」と、子供時代にエリーと誓った夢がありました。

それは、二人で素晴らしい冒険の旅に出ること…。

しかし、その夢は叶うことなく、愛するエリーを亡くし、

住み慣れた我が家まで奪われそうになった時、カールは一生で一度の旅立ちを決意します。

彼に残された唯一の宝であるマイホームに無数の風船をつけ、

カールじいさんは家ごと空高く舞い上りました。

空へ、妻と夢見た冒険の地を目指して——。

その旅は、想像を超える冒険へ、そして思ひもよらぬ運命へと彼を導いてゆくのです…。

もう一度、“この家”と一緒に、
君に会いに行く——。



FESTIVAL DE CANNES
OPENING FILM
第62回カンヌ国際映画祭
オープニング作品

Disney · PIXAR

カールじいさんの
空飛ぶ家